

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：2 単位
 対象学年組：第2学年 1組～7組

使用教科書：（ ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】国語について、その特質を理解し適切に使用できる。

【思考力、判断力、表現力等】伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言語間感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	いのちは誰のものか？	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	8
	晴れた空の下で	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	5
	定期考査						○	○		1
	行動としての話し言葉	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	8
	科学と市民	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
2 学 期	イスラム感覚 木を伐る人／植える人 ピブリオバトル	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1
	山月記 変身に伴う快楽と恐れ	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
3 学 期	こころ	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。				7
	淋しい人間	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。				7
	定期考査						○	○		1
合計										
										70

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 古典探究

教科：国語

科目：古典探究

単位数：3 単位

対象学年組：第2学年

組～組

使用教科書：（精選 古典探究（50大修館 古探708））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】国語について、その特質を理解し適切に使用できる。

【思考力、判断力、表現力等】伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 古典探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	『方丈記』 「行く河の流れ」 「安元の大火」	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	12
	故事・逸話 「知音」	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	7
	定期考査			○			○	○		1
	『伊勢物語』 「初冠」 『大和物語』 「をばすて」	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	15
	漢詩 近体詩 「早発白帝城」 「登岳陽楼」	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	8
	定期考査				○		○	○		1
2 学 期	『源氏物語』 「若紫との出会い」	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	16
	『更級日記』 「源氏の五十余巻」	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	8
	定期考査				○		○	○		1
	史伝『史記』本紀 「鴻門の会」 「項王の最期」	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	14
	定期考査				○		○	○		1

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史探究

教科：地理歴史 科目：日本史探究 単位数：3 単位
 対象学年組：第2学年 1組～7組

使用教科書：（『詳説日本史』山川出版社）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色などを活用して多面的・多角的に考察しする。
- 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意義や特色などを、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察することができる。	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、主体的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	日本文化のあけぼの	・プリント ・グループワーク ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 資料から年代の特定方法に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 先史・古代の資料の特質について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 先史・古代の資料の特質について明らかにしようとしている。	○	○	○	5
	古墳とヤマト政権 律令国家の成立	・プリント ・グループワーク ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 日本と東アジアとの関係に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 先史・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 先史・古代の特色について明らかにしようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	貴族政治の展開 院政と武士の躍進	・プリント ・グループワーク ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容について理解している。 【思考・判断・表現】 歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身との関わりをふまえて振り返る。	○	○	○	7
	武家政権の成立 武家社会の成長	・プリント ・グループワーク ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 古代から中世への時代の転換を理解している。 【思考・判断・表現】 中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中世の日本と世界の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1	
2 学 期	近世の幕開け 幕藩体制の成立と展開	・プリント ・グループワーク ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 中世から近世への時代の転換を理解している。 【思考・判断・表現】 近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習について振り返り、調整しようとしている。				6
	幕藩体制の動揺 近世から近代へ	・プリント ・グループワーク ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 近世の支配のしくみに関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 江戸時代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身との関わりをふまえて、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。				6
	定期考査			○	○		1
	近代国家の成立と展開	・プリント ・グループワーク ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 近世から近代への時代の転換を理解している。 【思考・判断・表現】 近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代の日本と世界に関わる諸事象について、追究しようとしている。	○	○	○	8
	近代の産業と生活 恐慌と第2次世界大戦	・プリント ・グループワーク ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 国民国家と政治参加に関する資料から政治と国民の関係に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 近現代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1	
	占領下の日本 激動する世界と日本	・プリント ・グループワーク ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係について理解している 【思考・判断・表現】 戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10

3 学 期		【主体的に学習に取り組む態度】 自身との関わりをふまえて振り返るとともに、 次の学習へのつながりを見いだそうとしている。				
	定期考査			○	○	1
						合計
						69

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科: 地理歴史 科目: 世界史探究 単位数: 3 単位
 対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 7 組

使用教科書: (『詳説世界史』山川出版社)

教科 地理歴史 の目標:

- 【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色などを活用して多面的・多角的に考察する。
- 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする。

科目 世界史探究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意義や特色などを、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察することができる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、主体的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学期	A古代オリエント文明とその周辺 【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】 史資料からの読み取り、ワークシート、小テスト 【主体的な態度】レポート	・人類の進化の過程の概要を理解し、文明誕生の基礎について理解する。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	2
	B中央ユーラシアと東アジア世界 【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】 史資料からの読み取り、ワークシート、小テスト 【主体的な態度】レポート	メソポタミア文明が今日に残した文化的遺産を理解する。エジプト王国が長期にわたって安定した支配を続けられた理由を多面的・多角的に考察し表現する。クレタ文明とミケーネ文明を比較し、そのあいだの性格の違いを理解する。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	B中央ユーラシアと東アジア世界 【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】 史資料からの読み取り、ワークシート、小テスト 【主体的な態度】レポート	アフリカ人の進出が南アジアにもたらした変化について多面的・多角的に考察し表現する。殷と周の支配形態を比較し、共通点と相違点を理解する。春秋時代と戦国時代を比較し、とくにそれぞれの秩序について違いを見出す。北米と中南米の先住民社会を比較し、共通点と相違点を理解する。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	5
	C南アジア世界と東南アジア世界 【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】 史資料からの読み取り、ワークシート、小テスト 【主体的な態度】レポート	統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。魏晉南北朝時代に仏教や道教が力を持つようになった要因や背景を、多面的・多角的に考察し表現する。唐の制度や文化が近隣諸国に与えた影響について理解する。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1	
2 学期	D西アジアと地中海周辺の国家形成 【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】 史資料からの読み取り、ワークシート、小テスト 【主体的な態度】レポート	仏教やジャイナ教などの新たな宗教に共通する点について理解する。ヒンドゥー教が南アジアの社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現する。東南アジアと南アジア・中国との関係を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	4
	Eイスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】 史資料からの読み取り、ワークシート、小テスト 【主体的な態度】レポート	イスラーム教がどのように成立し、短期間で勢力を拡大していったのかを理解している。西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解している。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	Fイスラーム教の伝播と西アジアの動向	中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカの各地でどのようにイスラーム化が進んだのかを理解している。トルコ人の進出・十字軍遠征・モンゴル勢力の襲来といった外圧が、西アジアの社会へおよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現している。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
3 学期	Gヨーロッパ世界の変容と展開	中世の西ヨーロッパで発達した商業の活動状況とその特徴について、従来との比較をふまえて理解している。封建社会の衰退と教皇権の衰退の過程および中央集権国家に向けた西ヨーロッパ各国の動きを理解している。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	5
	H東アジア世界の展開とモンゴル帝国	モンゴル帝国がどのように成立し、解体したのか、そして帝国の支配は社会にどのような影響を与えたのかを理解している。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1

年間授業計画 様式例

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組

使用教科書：（『高等学校 公共』清水書院）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 人間と社会についての見方・考え方を働かせる。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題を追求したり解決したりする活動を行う。

【学びに向かう力、人間性等】 広い視野にたち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国会議員及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 ・読資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力がある。	・よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して深養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚、国民主権を担う公民として各国民が協力し合うことの大切さの自覚などを深めている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 公共的な空間をつくる私たち 【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】 統計データ・新聞・原典資料・芸術作品などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【主体的な態度】ディスカッション、プレゼンテーション、レポート	・青年期の特徴と発達課題、様々な人間の心の在り方について理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深める。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	5
	B 公共的な空間における人間 【知識・技能】【思考・判断・表現】 ケーススタディ、新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト 【主体的な態度】ディスカッション、プレゼンテーション、レポート	・生命科学や医療技術の進展にともなう生じた倫理的課題から、生きることの意義について思索させるとともに、「幸福」「公正」などの観点から、社会のあり方について考察させる。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	C 公共的な空間における基本的原理 【知識・技能】【思考・判断・表現】 原典資料・著作物などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【主体的な態度】ディスカッション、レポート	・経験論や合理論などの科学的な思考、社会契約説、ヘーゲルやマルクス、実存主義などの近代思想を通して、自然と人間との関わりを理解させ、社会の在り方と人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察させる。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	5
	D 民主政治の原理 【知識・技能】 憲法・原典資料などからの読み取り、ワークシート、定期テスト 【思考・判断・表現】 【主体的な態度】 ディスカッション、レポート	・個人の尊重と基本的人権の保障、法の支配や立憲主義という近代民主主義国家の基本的な原理を理解させ、国民の自由や権利が保障されていることの意義を考察させる。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	5
定期考査			○	○		1	
2 学 期	E 人権の尊重と日本国憲法 【知識・技能】 憲法・人権諸条約・新聞などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【思考・判断・表現】 【主体的な態度】 ディスカッション、作文	・現代社会において、基本的人権を拡充するものとして主張されている新しい人権の内容を理解させるとともに、国際社会における人権に関する諸条約の意義を考察させる。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	5
	F 国際政治の仕組みと役割 【知識・技能】 国連・外務省資料や新聞などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【思考・判断・表現】 【主体的な態度】 ディスカッション、模擬活動（模擬国連など）	・国際社会の変遷、人権、国家主権、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割について理解させ、国際社会が抱える課題を考察させる。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
3 学 期	G 国際政治の現状と課題 【知識・技能】 国連・外務省資料や新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト 【思考・判断・表現】 【主体的な態度】 ケーススタディ、ディスカッション、レポート	・現代の国際紛争の諸要因について理解させ、その対立を解消するために、多文化共生の観点から調整し協調することが国際政治に必要とされることを理解させる。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	H 国際経済の現状と課題 【知識・技能】 統計データ・新聞などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【思考・判断・表現】 【主体的な態度】 ケーススタディ、ディスカッション、レポート	・国際経済についての基本的な知識を身につけさせ、グローバル化する経済が抱える課題について多面的・多角的に考察させる。また、その課題解決には国際協調や自他の文化や宗教などを尊重する相互理解と寛容の態度が必要であることを理解させる。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	6
	I ともに生きる社会をめざして 【知識・技能】 統計データ、著作物、新聞などからの読み取り、ワークシート 【思考・判断・表現】 【主体的な態度】 ケーススタディ、ディスカッション、プレゼンテーション、レポート	・これまでの学習を基礎に、人工知能・環境・資源・少子高齢化・地域社会について、「幸福」「正義」「公正」などの観点から課題を見出し、その解決策を多面的・多角的に考察させる。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科：数学 科目：数学Ⅱ 単位数：4 単位
 対象学年組：第2学年 1組～7組

使用教科書：（NEXT 数学Ⅱ）

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現、処理する技能を身につけようとする。
- 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考え方についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って総合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
(1)式と証明 ア 式と計算 ・3次の乗法公式を理解し、式の展開や因数分解をすることができる。 ・パスカルの三角形から二項定理を理解し、式の計算に活用することができる。 ・整数の除法と同様に、整式の除法ができる。 ・分母の次数が2次程度までの分式式の計算ができる。 ・方程式と恒等式の違いを明確に理解し、係数比較法や数値代入法を用いて、恒等式を作ることができる。	(1) 式と証明 ア 式と計算 ・3次の展開と因数分解 ・二項定理 ・多項式の割り算 ・分式式とその計算 ・恒等式	【知識・技能】 式と計算の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 式と計算についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 式と計算の内容を理解しようとしている。	○	○	○	7
・等式、不等式の証明方法を再確認し、実際に証明することができる。	イ 等式・不等式の証明 ・等式の証明 ・不等式の証明	【知識・技能】 等式・不等式の証明の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 等式の証明・不等式の証明についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 等式の証明・不等式の証明の内容を理解しようとしている。	○	○	○	6
・複素数の意味を理解し、簡単な計算ができる。 ・2次方程式が複素数の範囲で解ける。 ・解と係数の間の関係を知り、因数分解に活用することができる。	(2)複素数と方程式 ア 複素数と2次方程式の解 ・複素数とその計算 ・2次方程式の解 ・解と係数の関係	【知識・技能】 複素数と2次方程式の解の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 複素数と2次方程式の解についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 複素数と2次方程式の解の内容を理解しようとしている。	○	○	○	8
・因数定理等を活用することで、3次、4次の方程式を解くことができる。 ・因数定理等を活用することで、3次、4次の方程式を解くことができる。	イ 高次方程式 ・剰余の定理と因数定理 ・高次方程式	【知識・技能】 高次方程式の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 高次方程式についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 高次方程式の内容を理解しようとしている。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1
(3)図形と方程式 ア 直線と円 ・三平方の定理から2点間の距離を求めることができる	(3)図形と方程式 ア 直線と円 ・直線状の点 ・平面上の点	【知識・技能】 直線と円の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 直線と円についての問題を解くことができる。				

	<p>を求めることが出来る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内外分点について、数直線から座標平面へ拡張することができる。 ・直線方程式の一般形を確認し、直線のいろいろな性質について考えることができる。 ・点と直線の距離の導き方を理解し、活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平面直線の方程式 ・直線の方程式 ・2直線の関係 	<p>直線と円に関する問題を解くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 直線と円の内容を理解しようとしている。</p>	○	○	○	11
	<p>イ 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円の方程式の一般形を確認し、表現したり、活用できる。 ・円と直線の位置関係から、連立方程式の解の意味を図形的に理解できる。 	<p>イ 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円の方程式 ・円と直線 ・2つの円 	<p>【知識・技能】 円の内容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 円についての問題を解くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 円の内容を理解しようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>ウ 軌跡と領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軌跡の意味を理解し、座標を用いて軌跡を求めることができる。 ・領域の意味を理解し、直線や円を境界とする領域を求めることができる。 ・線形計画法を扱い、領域を活用して、最大値・最小値問題を解決することができる。 	<p>ウ 軌跡と領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軌跡の方程式 ・不等式の表す領域 	<p>【知識・技能】 軌跡と領域の内容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 軌跡と領域についての問題を解くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 軌跡と領域の内容を理解しようとしている。</p>	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>(4)三角関数</p> <p>ア 三角関数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・角の概念を一般の角にまで拡張することができる。 ・角を弧度法を用いて表すことができ、度数法との関連を理解することができる。 ・扇形の面積や弧の長さについて考察することができる。 ・三角関数の相互関係を理解し、簡単な三角関数の等式の証明ができる。 ・いろいろな角度の三角関数の関係を理解し、考察することができる。 ・単位円を利用して、三角関数のグラフをかくことができる。 ・三角関数の周期性に気づくことができる。 ・やや複雑な三角関数のグラフをかくことができる。 ・三角関数を含む方程式をみたす角の値を、単位円やグラフ等を用いて求めることができる。 ・三角関数を含む不等式をみたす角の範囲を求めることができる。 	<p>(4)三角関数</p> <p>ア 三角関数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・角の拡張 ・三角関数 ・三角関数の性質 ・三角関数のグラフ ・三角関数の応用 	<p>【知識・技能】 三角関数の内容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 三角関数についての問題を解くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 三角関数の内容を理解しようとしている。</p>	○	○	○	14
	<p>イ 加法定理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加法定理を利用して、有名角以外の三角関数の値を求めることができる。 ・加法定理を用いて、2倍角の公式が導けることを知る。 ・2倍角を利用して、三角方程式や不等式を解くことができる。 ・2倍角の公式から、半角の公式が導けることを知る。 ・三角関数の合成の原理を理解し、合成を行うことができる。 ・三角関数の合成を行い、方程式や最大値、最小値問題を解くことができる。 	<p>イ 加法定理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加法定理 ・加法定理の応用 	<p>【知識・技能】 加法定理の内容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 加法定理についての問題を解くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 加法定理の内容を理解しようとしている。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	<p>(5)指数・対数関数</p> <p>ア 指数関数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指数が有理数まで拡張できることを確認し、指数演算ができる。 ・指数関数のグラフをかくことができる。また、グラフを活用して、無理数の大小比較等を行うことができる。 ・グラフを活用し、指数方程式や不等式を解くことができる。 	<p>(5)指数・対数関数</p> <p>ア 指数関数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指数の拡張 ・指数関数 	<p>【知識・技能】 指数関数の内容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 指数関数についての問題を解くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 指数関数の内容を理解しようとしている。</p>	○	○	○	13

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学B・数学C

教科： 数学 科目： 数学B・数学C 単位数： 3 単位
 対象学年組： 第 2 学年 3 組～ 6 組

使用教科書：（ NEXT 数学C , NEXT 数学B ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現、処理する技能を身につけようとする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学B・数学C の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学B 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。 数学C ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈し	数学B 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 数学C 大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
数学C (1) 平面上のベクトル ア ベクトルとその演算 ・平面上のベクトルの概念を理解し、ベクトルに関する基本的な用語・記号の有向線分、始点、終点、ベクトル、ベクトルの記号、大きさ、大きさの記号、ベクトルの相当、逆ベクトル、零ベクトルに習熟する。 ・ベクトルの演算について数の演算と同様の法則が成り立つことを確かめる。単位ベクトル、ベクトルの平行、ベクトルの分解、1次独立である2つのベクトルの1次結合として、平面上の任意のベクトルが表現できることを理解する。 ・基本ベクトル、成分表示、ベクトルの大きさ、成分による演算ができるようにする。 ・ベクトルの内積について知り、その基本性質、内積の定義、ベクトルの垂直と内積、内積の性質、内積の成分、ベクトルのなす角等を理解	数学C (1) 平面上のベクトル ア ベクトルとその演算 ・ベクトル ・ベクトルの演算 ・ベクトルの成分 ・ベクトルの内積	【知識・技能】 ベクトルとその演算の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 ベクトルとその演算についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ベクトルとその演算の内容を理解しようとしている。	○	○	○	7
イ ベクトルと平面図形 ・位置ベクトルについて知り、内分点・外分点、三角形の重心などいろいろな図形の問題を位置ベクトルを利用して解くことができるようにする。 ・3点が一直線上にあるための条件、2直線の交点、三角形の面積を理解し、内積をいろいろな図形の問題に活用できるようにする。 ・方向ベクトル、直線のベクトル方程式、直線の媒介変数表示を理解できるようにする。 ・ベクトル方程式の応用として、2点を通る直線などの図形がベクトルを用いて解くことができるようにする。 ・ベクトル方程式の応用として、法線ベクトルを理解し、直線がベクトルを用いて解くことができるようにする。 ・ベクトル方程式の応用として、円のベクトル方程式を理解し、円がベクトルを用いて解くことができる	イ ベクトルと平面図形 ・位置ベクトル ・ベクトルの図形への応用 ・図形のベクトルによる表示	【知識・技能】 ベクトルと平面図形の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 ベクトルと平面図形についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ベクトルと平面図形の内容を理解しようとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1
(2) 空間のベクトル ・空間に座標を定め、空間の点も座標を用いて表すことができることを知る	(2) 空間のベクトル ・空間の点 ・空間のベクトル ・ベクトルの成分	【知識・技能】 空間のベクトルの内容を理解している。 【思考・判断・表現】 空間のベクトルについての問題を解くこ				

1
学
期

	<p>空間のベクトルの概念を理解し、ベクトルに関する基本的な用語・記号の有向線分、始点、終点、ベクトル、ベクトルの記号、大きさ、大きさの記号、平行六面体を理解する。</p> <p>空間のベクトルの平行と分解、基本ベクトル、成分表示、成分による演算、座標と成分表示に習熟する。</p> <p>位置ベクトルについて知り、内分点・外分点などいろいろな図形の問題を位置ベクトルを利用して解くことができるようにする。</p> <p>3点が一直線上にあるための条件など、内積の応用をいろいろな図形の問題に応用できるようにする。</p> <p>球面や球の方程式など、内積の問題に活用できるようにする。</p>	<p>ベクトルの内積</p> <p>ベクトルの図形への応用</p> <p>座標空間における図形</p>	<p>空間のベクトルに関する問題を解くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 空間のベクトルの内容を理解しようとしている。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>数学B (1)数列</p> <p>ア 等差数列と等比数列</p> <p>数列の概念、数列についての基本的な養護の意味や表し方、第n項、$\{a_n\}$、一般項、有限数列、無限数列、項数、末項についてを理解する。</p> <p>等差数列の定義や性質について理解し、公差、等差数列一般項について求められるようにする。</p> <p>等差数列の和を求めることができるようにする。</p> <p>等比数列の定義や性質について理解し、公比、等比数列一般項について求められるようにする。</p> <p>等比数列の和を求めることができるようにする。</p>	<p>数学B (1)数列</p> <p>ア 等差数列と等比数列</p> <p>数列と一般項</p> <p>等差数列</p> <p>等差数列の和</p> <p>等比数列</p> <p>等比数列の和</p>	<p>【知識・技能】 等差数列と等比数列の内容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 等差数列と等比数列についての問題を解くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 等差数列と等比数列の内容を理解しようとしている。</p>	○	○	○	14
	<p>イ いろいろな数列</p> <p>和の記号Σの性質を理解し、利用できるようにする。</p> <p>階差数列、階差数列を用いて一般項を求めたり、和をもとめたりすることができるようにする。</p> <p>数列の和と一般項、分数で表された数列の和を求めることができるようにする。等差数列\times等比数列で表される数列や群数列を理解し、和を求められるようにする。</p>	<p>イ いろいろな数列</p> <p>和の記号Σ</p> <p>階差数列</p> <p>いろいろな数列の和</p>	<p>【知識・技能】 いろいろな数列の内容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 いろいろな数列についての問題を解くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 いろいろな数列の内容を理解しようとしている。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	<p>ウ 漸化式と数学的帰納法</p> <p>数列の帰納的定義について理解する。</p> <p>簡単な漸化式の一般項を説くことができるようにする。</p>	<p>ウ 漸化式と数学的帰納法</p> <p>漸化式</p> <p>数学的帰納法</p>	<p>【知識・技能】 漸化式と数学的帰納法の内容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 漸化式と数学的帰納法についての問題を解くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 漸化式と数学的帰納法の内容を理解しようとしている。</p>	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>数学B (2)統計的な推測</p> <p>ア 確率分布</p> <p>確率変数の期待値を求められるようにする。</p> <p>2つの確率変数から定まる確率変数の期待値を求められるようにする。</p> <p>独立な2つの確率変数について、その和の分散を求められるようにする。</p> <p>二項分布について理解する。</p> <p>正規分布を現実の問題に活用できるようにする。</p>	<p>数学B (2)統計的な推測</p> <p>ア 確率分布</p> <p>確率変数と確率分布</p> <p>確率変数の期待値と分散</p> <p>確率変数の和と積</p> <p>二項分布</p> <p>正規分布</p>	<p>【知識・技能】 確率分布の内容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 確率分布についての問題を解くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 確率分布の内容を理解しようとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>イ 統計的な推測</p> <p>標本から母集団分布を推測できるようにする。</p> <p>確率を用いて標本から母集団分布を推測できるようにする。</p> <p>標本平均から母平均を推測する方法を考える。</p> <p>仮説検定による判断ができるようにする。</p>	<p>イ 統計的な推測</p> <p>母集団と標本</p> <p>標本集団の分布</p> <p>推定</p> <p>仮説検定</p>	<p>【知識・技能】 統計的な推測の内容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 統計的な推測についての問題を解くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 統計的な推測の内容を理解しようとしている。</p>	○	○	○	9

定期考査			○	○		1
						合計
						92

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 理科 科目 生物

教科：理科 科目：生物 単位数：3 単位
 対象学年組：第 2 学年 3 組

使用教科書：（ 第一学習社『高等学校 生物BIOLOGY』 ）

- 教科 理科 の目標：
- 【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な探究のための観察・実験などに関する技能を身につける。
 - 【思考力、判断力、表現力等】観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的に探究するための基本的な観察・実験技能を身につける。	観察・実験および基本的な知識を応用することで、見通しをもって科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的な探究への意欲と、生命を尊重し自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 生命の起源と細胞の進化 【知識及び技能】 生物の進化を地球環境の変化と関連付けて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 突然変異によって生物の形質が変化することがあることに気づかせる。 【学びに向かう力、人間性等】 生命の起源と細胞の進化に関する事象に主体的に関わり、課題解決について考えさせる。	・指導事項 原始地球は現在の地球と大きく異なる環境であることを理解し、現在の生物ができるまでの進化の過程について順序立てて理解させる。 ・教材 教科書、参考書(第一学習社『セミナー』数研出版『フォトサイエンス生物図録』)、プリント ・一人1台端末の活用等 教科書および参考書上部のQRコードのリンクから、映像教材を開き提示した。	【知識・技能】 生物の進化を地球環境の変化と関連付けて理解できている。 【思考・判断・表現】 突然変異によって生物の形質が変化することがあることに気づくことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生命の起源と細胞の進化に関する事象に主体的に関わり、課題解決について考えることができる。	○	○	○	5
	B 遺伝子の変化と組み合わせの変化、進化の仕組み 【知識及び技能】 遺伝子の組み合わせの変化について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験から、遺伝子頻度が変化する要因に気づかせる。 【学びに向かう力、人間性等】 遺伝子の変化と進化の仕組みに関する事物・現象に主体的に関わり、課題解決について考えさせる。	・指導事項 遺伝子の組み合わせの変化には法則があることを理解し、種分化および進化のしくみを順序立てて理解させる。 ・教材 教科書、参考書(第一学習社『セミナー』数研出版『フォトサイエンス生物図録』)、プリント ・一人1台端末の活用等 教科書および参考書上部のQRコードのリンクから、映像教材を開き提示した。	【知識及び技能】 遺伝子の組み合わせの変化について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験から、遺伝子頻度が変化する要因に気づくことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 遺伝子の変化と進化の仕組みに関する事物・現象に主体的に関わり、課題解決について考えることができる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 生物の進化と系統 【知識及び技能】 生物の系統と塩基配列やアミノ酸配列との関係を見出して理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 資料から、アミノ酸配列の違いから生物の系統関係を推定できることに気づかせる。 【学びに向かう力、人間性等】 生物の系統と進化に関する事物・現象に主体的に関わり、課題解決について考えさせる。	・指導事項 生物の系統にもとづく分類の法則を理解させ、ヒトへの進化についても順序立てて説明できるようにする。 ・教材 教科書、参考書(第一学習社『セミナー』数研出版『フォトサイエンス生物図録』)、プリント ・一人1台端末の活用等 教科書および参考書上部のQRコードのリンクから、映像教材を開き提示した。	【知識・技能】 生物の系統と塩基配列やアミノ酸配列との関係を見出して理解できる。 【思考・判断・表現】 資料から、アミノ酸配列の違いから生物の系統関係を推定できることに気づくことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物の系統と進化に関する事物・現象に主体的に関わり、課題解決について考えることができる。	○	○	○	8
	D 生物物質と細胞 【知識及び技能】 細胞を構成する物質を細胞の機能と関連付けて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 資料から、生体膜の構造について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 細胞と分子に関わる事物・現象に主体的に関わり、課題解決について考えさせる。	・指導事項 電子顕微鏡レベルの微細な細胞構造について理解し、その機能について説明できるようにする。 ・教材 教科書、参考書(第一学習社『セミナー』数研出版『フォトサイエンス生物図録』)、プリント ・一人1台端末の活用等 教科書および参考書上部のQRコードのリンクから、映像教材を開き提示した。	【知識・技能】 細胞を構成する物質を細胞の機能と関連付けて理解できる。 【思考・判断・表現】 資料から、生体膜の構造について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 細胞と分子に関わる事物・現象に主体的に関わり、課題解決について考えることができる。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1	
E 生命現象とタンパク質 【知識及び技能】 タンパク質の機能を生命現象と関連付けて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験から、加熱によって酵素が変性して機能を失うことを考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 タンパク質に関する事物・現象に主体的に関わり、課題解決について考えさせる。	・指導事項 タンパク質の機能と構造について、酵素や細胞骨格など異なる部位・機能に関しても網羅的に理解させる。 ・教材 教科書、参考書(第一学習社『セミナー』数研出版『フォトサイエンス生物図録』)、プリント ・一人1台端末の活用等 教科書および参考書上部のQRコードのリンクから、映像教材を開き提示した。	【知識・技能】 タンパク質の機能を生命現象と関連付けて理解できる。 【思考・判断・表現】 実験から、加熱によって酵素が変性して機能を失うことを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 タンパク質に関する事物・現象に主体的に関わり、課題解決について考えることができる。	○	○	○	8	
F 代謝 【知識及び技能】 光合成と呼吸をエネルギーの流れと関連付けて理解させる。	・指導事項 代謝とエネルギーの流れを、化学反応の形で順序立てて理解させる。	【知識・技能】 光合成と呼吸をエネルギーの流れと関連付けて理解することができる。 【思考・判断・表現】					

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3 単位
 対象学年組：第2学年 1組～ 7組

使用教科書：（新高等保健体育 ）

- 教科 保健体育 の目標：
- 【知識及び技能】 各競技のルールを理解し、守ることができる。各種目の動きの特性を理解し、適切に実践できる。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を把握し、課題改善に努めている。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 自己の目標を見出し、目標達成に向けて挑戦している。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各種目には、様々なルールがあることを理解し、実践することができる。各種目の動きの特性を理解し、正しい動きを実践することができる。	自己の課題を把握することができる。自己の課題解決のために目標を立てることができる。課題改善に向けて反省と振り返りを行うことができる。	自主的に種目に取り組むことができる。自己の目標を見出し、目標達成に向けて挑戦することができる。目標を達成することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 体づくり運動 I B サッカー 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	オリエンテーション A 50M、100M走 ストレッチ、リズム体操 筋肉・調整力を高める運動 B インサイドキック インステップキック ドリブル・パス回し ミニゲーム・ゲーム	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	10
	C スポーツテスト D 体育祭練習 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	C スポーツテスト D 全員リレー ムカデ競争	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	4
	定期考査						
	D 体育祭練習 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	D 各種選択種目	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	4
	E 水泳 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	E クロール キック・ストローク コンビネーション タイムトライ	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	9
定期考査							
2 学 期	E 水泳 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	E 背泳ぎ キック・ストローク コンビネーション タイムトライ	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	6
	F アルティメット G ソフトボール H バスケットボール 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	F フォアハンド・バックハンドスロー パスアンドラン 10カウントディフェンス ミニゲーム、ゲーム G キャッチボール T バッティング バッティング 捕球・ゲーム H 各バス、ドリブル レイアップシュート 1対1、3対3 ミニゲーム、ゲーム	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	18
	定期考査						
	H バスケットボール I バレーボール J テニス 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	I オーバーパス アンダーパス サーブ・アタック ミニゲーム・ゲーム J フォア・バック ロブ・ボレー・スマッシュ サーブ・サーブレシーブ ミニゲーム シングルス	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	18
	K 持久走 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】	K 2K走 3K走 4K走 タイム走	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	6
定期考査							

3 学 期	K持久走 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】	K 2 K走 3 K走 4 K走 タイム走	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、 出席、授業への参加態度などを基に総合的に評 価する。	○	○	○	12
	L球技大会練習 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する	L テニス バレーボール ドッジボール サッカー バスケットボール など	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、 出席、授業への参加態度などを基に総合的に評 価する。	○	○	○	5
	定期考査						
							合計
							92

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

保健体育 科目 保健

教科：保健体育

科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 1組～

7組

使用教科書：（新高等保健体育

）

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】

各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにすることができる。	健康についての自他や社会の課題を把握することができる。課題解決のために目標を立てることができる。課題改善に向けて反省と振り返りを行うことができる。他者に伝えることができる。	生涯にわたって継続して健康の保持増進と体力の向上を目指すことができる。明るく豊かで活力ある生活を営むことができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 思春期と健康 B 性意識の変化と性行動の選択 【知識・技能】 ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できるようにする 【思考・判断・表現】 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理する 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明する	オリエンテーション A 体の変化と性機能の成熟 心の変化と健康課題 B 性意識の変化と異性の尊重 性に関する情報と行動の選択	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、定期考査や小テスト、提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	4
C 結婚生活と健康 D 妊娠出産と健康 E 家族計画 【知識・技能】 ・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できるようにする ・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解できるようにするとともに、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて理解できるようにする 【思考・判断・表現】 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理する 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明する	C 結婚・婚姻状況と健康 夫婦関係と健康 親子関係と健康 D 受精・妊娠・出産 母子の健康のために E 家族計画の意義 避妊法の選択と人工妊娠中絶	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、定期考査や小テスト、提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	7
F 加齢と健康 【知識・技能】 ・中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係することを理解できるようにする 【思考・判断・表現】 ・習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明する	F 加齢による心身の変化 中高年期を健やかに過ごすために	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、定期考査や小テスト、提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	2
定期考査						

2 学 期	<p>G 働くこと健康 H 労働災害の防止 I 働く人の健康づくり J 大気汚染と健康 K 水質汚濁・土壌汚染と健康 L 健康被害を防ぐための環境対策 M 衛生環境に関わる活動 N 食品の安全性と健康 O 食品の安全性を確保する取組</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変わってきたことを理解できるようにする 長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることを理解する 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること、それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があることを理解する 食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であることを理解する <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことを理解できるようにする 健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明することができるようにする <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明する 	<p>G 労働の意義と働き方の変化 働く人における健康問題の現状 H 日本における労働災害の推移 労働災害を防止するための仕組み I 職場における健康の保持・増進活動 日常生活における健康の保持増進活動 J 大気汚染による健康への影響 地球規模の大気環境問題 K 水質汚濁による健康への影響 土壌汚染による健康への影響 L 環境汚染の防止とその対策 産業廃棄物の問題と新たな環境汚染の問題 M 安全な飲み水の供給と汚水の処理 生活環境を守るごみ処理 N 食品の安全性と課題 食品の安全性の確保 O 行政、生産・製造者の役割 安全性の確保と私たちの役割</p>	<p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。</p>	○	○	○	14
	定期考査						
3 学 期	<p>P 保健制度とその活用 Q 医療制度とその活用 R 医療制度とその活用 S 医薬品の制度とその活用 T 様々な保健活動や対策 U 誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて理解する 医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて理解する 自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりが重要であることについて理解できるようにする <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明することができるようにする 	<p>P 生涯を通じて病気から人々の健康を守る保健行政 健康の保持・増進のための活用できる保健サービス Q 医療制度と医療保険 医療機関の役割と適切な活用 R 医薬品の種類と承認制度 医薬品の使い方 S 地球規模の健康課題を解決する取り組み T 多様な人や組織が参加して進める環境づくり</p>	<p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>上記の観点から、定期考査や小テスト、提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。</p>	○	○	○	7
	定期考査						
						合計	
						34	

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

保健体育 科目 体育

教科： 保健体育

科目： 体育

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～

7 組

使用教科書：（新高等保健体育

）

教科 保健体育

の目標：

- 【知識及び技能】 各競技のルールを理解し、守ることができる。各種目の動きの特性を理解し、適切に実践できる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を把握し、課題改善に努めている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 自己の目標を見出し、目標達成に向けて挑戦している。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各種目には、様々なルールがあることを理解し、実践することができる。各種目の動きの特性を理解し、正しい動きを実践することができる。	自己の課題を把握することができる。自己の課題解決のために目標を立てることができる。課題改善に向けて反省と振り返りを行うことができる。	自主的に種目に取り組むことができる。自己の目標を見出し、目標達成に向けて挑戦することができる。目標を達成することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 体づくり運動 I B バレーボール 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	オリエンテーション A 50M、100M走 ストレッチ、リズム体操 筋肉・調整力を高める運動 B オーバーパス アンダーパス サーブ・アタック ミニゲーム・ゲーム	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	10
	C スポーツテスト D 体育祭練習 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	C スポーツテスト D 全員リレー ムカデ競争	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	4
	定期考査						
	D 体育祭練習 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	D 各種選択種目	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	4
	E 水泳 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	E クロール キック・ストローク コンビネーション タイムトライ	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	9
定期考査							
2 学期	E 水泳 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	E 背泳ぎ キック・ストローク コンビネーション タイムトライ	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	6
	F アルティメット G ソフトボール H バスケットボール 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	F フォアハンド・バックハンド・スロー パスアンドラン 10カウントディフェンス ミニゲーム、ゲーム G キャッチボール T バッティング バッティング 捕球・ゲーム H 各バス、ドリブル レイアップシュート 1対1、3対3 ミニゲーム・ゲーム	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	18
	定期考査						
	H バスケットボール I 器械運動 J テニス 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	I 前後転、開脚前後転 伸膝前後転、側転 J フォア・バック ロブ・ボレー・スマッシュ サーブ・サーブレシーブ ミニゲーム シングルス	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	18
	J 持久走 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】	J 2K走 3K走 4K走 タイム走	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	6

	定期考査		する。				
3 学 期	J 持久走 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】	J 2 K走 3 K走 4 K走 タイム走	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、 出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価 する。	○	○	○	12
	K 球技大会練習 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する	K テニス バレーボール ドッジボール サッカー バスケットボール など	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、 出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価 する。	○	○	○	5
	定期考査						
						合計	92

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教科: 芸術 科目: 音楽Ⅱ 単位数: 2 単位 2
 対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 7 組

使用教科書: (MOUSA② 教育芸術社)

教科 芸術 の目標:

- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。	自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数			
		歌	器	創									
1 学期	・曲想と音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法などの技能を身につけて、他者と協働しながらイメージをもって表現を工夫して演奏する。 【ポディーバーカッション】 8小節4パートのリズムアンサンブル創作活動		○	○		・リズムを正確に捉え、重なりやつながりを意識して演奏している。(技) ・決まりに基づいて4拍子にあうリズムを正しく選び、楽譜に示すことができる。(技) ・曲想にあった音色や奏法、パフォーマンスの技能を身につけ、表現の工夫をしている。(思・判・表) ・曲の特徴をいかした表現をグループ内で積極的に意見交換して、音楽活動を主体的、協働的に行っている。(主)				○	○	○	8
	・曲想と音楽の構造や歌詞を理解し、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身につけて、イメージを持って表現を工夫し歌唱する。 【日本歌曲】 ・変わらないもの 【混声四部合唱曲】 ・若人の歌		○		○	・曲にふさわしい発声や発音、身体の使い方などに気を付けて歌い、表現に必要な技能を身につけている。(技) ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容を理解している。(知) ・歌唱表現に関わる知識や技能を生かし、自己のイメージを持って表現の創意工夫をしている。(思・判・表) ・歌唱表現の工夫を考え、主体的に活動を行っている。(主)				○	○	○	8
	・音のつなげ方やフレーズのまとまり、重なりによる響きを理解し、反復・変化などの手法を活用してメロディーを作る技能を身につけながら、イメージをもって表現を工夫して創作する。 【創作・発表活動】 日本の伝統芸能や民謡(島唄)を鑑賞し、沖縄の民謡の音階の音を使ってメロディー創作をしよう。			○	○	・沖縄音階の構成音を正しく選び、反復や変化などの手法を用いながら工夫して、楽譜に書くことができ、演奏ができる。(技) ・自分の表現したい音楽をどのように創作するか意図を持ち、創作している。(思・判・表) ・まとまりのある音楽を創作することに関心を持ち、主体的に活動をしている。(主)				○	○	○	4
2 学期	・曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法・技能を身につけてイメージを持って表現を工夫し演奏をする。 【クラシックギター】 ・マリーゴールド ・プリテンダー		○		○	・ギターの音色や響きと奏法の関わりについて理解し、創意工夫を生かしギターの演奏に必要な奏法を身につけて表現している。(知・技) ・ギターの音色、旋律を知覚しどのように演奏がふさわしいか思いや意図を持っている(思・判・表) ・ギターの音色や特徴、日本の伝統音楽に関心を持ち、音楽活動を主体的に取り組んでいる(主)				○	○	○	20
	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解し、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身につけてイメージをもって表現を工夫し歌唱する。 【ドイツ歌曲】 ・菩提樹		○		○	・曲にふさわしい発声や発音、身体の使い方などに気を付けて歌い、表現に必要な技能を身につけている。(技) ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容、文化的・歴史的背景との関りを理解している。(知) ・歌唱表現に関わる知識や技能を生かし、自己のイメージを持って表現の創意工夫をしている。(思・判・表) ・歌唱表現の工夫を考え、主体的に活動を行っている。(主)				○	○	○	12
3 学期	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解し、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身につけてイメージをもって表現を工夫し歌唱する。 【音楽祭課題曲】 ・はなさくら(混声四部無伴奏)		○	○	○	・曲にふさわしい発声や発音、身体の使い方などに気を付けて歌い、表現に必要な技能を身につけている。(技) ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容、文化的・歴史的背景との関りを理解している。(知) ・歌唱表現に関わる知識や技能を生かし、自己のイメージを持って表現の創意工夫をしている。(思・判・表) ・歌唱表現の工夫を考え、主体的に活動を行っている。(主)				○	○	○	10
	・音のつなげ方やフレーズのまとまり、重なりによる響きを理解し、反復・変化などの手法を活用してメロディーを作る技能を身につけながら、イメージをもって表現を工夫して創作する。 【創作・発表活動】 ・「コード進行」をもとにメロディーをつくらう				○	・コードの構成音を正しく選び、反復や変化などの手法を用いながら工夫して、楽譜に書くことができ、演奏ができる。(技) ・自分の表現したい音楽をどのように創作するか意図を持ち、創作している。(思・判・表) ・コード進行を生かしてまとまりのある音楽を創作することに関心を持ち、主体的に活動をしている。(主)				○	○	○	8
										合計	70		

高等学校 令和5年度(2年用) 教科

芸術 科目 書道

教科: 芸術

科目: 書道

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 7 組

使用教科書: (教育図書 書Ⅱ)

教科 芸術 の目標: 音楽・美術に準じが、特に日本の美に関して造詣を深める。

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目 書道 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書は歴史や文化と不即不離で発達したグローバルな芸術。この独特の世界における歴史文化的学術知識を並行して学ぶ。また芸術表現ではとりわけ、毛筆という特殊で高度な筆記具の使用技術や東洋独特の美意識や情操を高める。	一人ひとりの個性と能力を最大限発揮しながら、芸術性や言語と文字に関する知識を動員して、心を表すことを育て、多様な文字表現・毛筆表現の向上にチャレンジする。また世界的な視野に立ち、東洋的、日本の民族文化を理解する。	日本的な言葉と文字の世界に理解を深め、その文化芸術に誇りを見出したい。また、書表現の魅力や可能性に関心を抱きたい。道具の整備や手入れをしっかりとすることなどを心掛ける精神を養いたい。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数		
		漢 仮	漢	仮								
1 学 期	オリエンテーション。書道Ⅱの目標について。 ・教科書と一念時の経験を踏まえて展開する。					書についての関心度が深まったか。道具の準備ができたか。					4	
	・篆書体の学習 有名古典を通じ、歴史や文化的側面と書表現との連絡について学ぶ。礼教書として発達した古代文字の魅力について考える。これが毛筆の発達と不即不離の関係にあることを体験する(以下全項目についてこの指針に倣う)。 ・甲骨文字から小篆までの臨書。	用筆法の工夫					篆書体の特性を理解できたか 文字のデザインに工夫ができたか。 毛筆の扱いを工夫したか。 正確な表現ができたか					10
	隷書体の学習	同上。書体の特徴の理解。創作重視。					隷書体独自の特徴を見極め、正確に表現できたか。					4
	かなの連綿、細字、散らし書きの学習	仮名の発達史の理解。書法上の特徴の理解。創作重視する。					特性を理解できたか。創作する時、文字のデザインに工夫ができたか。					10
2 学 期	かなの学習	同上				連綿と散らし書きに、積極的にチャレンジできたか。細線の魅力が表現できたか。かなの歴史や日本文化上の意義が理解できたか。					10	
	行・草書体の学習	同上				毛筆の扱いを工夫したか。この書体特有の正確な字形と連筆表現ができたか。とりわけ流れやリズムが重要。					10	
3 学 期	漢字かな交じりの半切作品 色紙作品	同上				少筆の扱いを工夫したか。楷書体の正確な表現や全体感の観察ができたか。あきらめずに最後まで集中したか。					10	
	楷書体の学習	同上				毛筆的な書き方を応用できたか。楷書体の正確な表現ができたか。					10	

高等学校 令和5年度（2学年用）教科

外国語

科目 英語コミュニケーションⅡ

教科：外国語

科目：英語コミュニケーションⅡ

単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組

使用教科書：（LANDMARK English Communication Ⅱ）

教科

外国語

の目標：

【知識及び技能】

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

外国語の背景にある文に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	説	書	書					
教科書Lesson 1 The Swedish Girl's Discoveries in Japan	・指導事項 分詞を補語とする文型、リテリングと自己表現 ・教材 ハンドアウト ・一人1台端末の活用 等 動画提出	○	○	○			【知識及び技能】 目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、話したり書いたりして表現したり伝え合ったりするために必要な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 日常的话题や社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話したり書いたりして表現したり伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 日常的话题や社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話したり書いたりして表現したり伝え合おうとしている。	○	○	○	18
Focus on Listening Lesson 1~4	・指導事項 対話文、説明文 ・教材 リスニング教材	○					【知識及び技能】 対話や説明文を聞いて、その内容を適切にとらえている。 【思考力、判断力、表現力等】 対話や説明文を聞いて、その目的や場面、状況に応じて概要や要点、話し手の意図を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 対話や説明文を聞いて、その目的や場面、状況に応じて概要や要点、話し手の意図を	○	○	○	4
定期考査							○	○		1	
教科書Lesson 3 Tokyo's Seven Minute Miracle	・指導事項 形式目的語のit、リテリングとインタビュー（やり取り） ・教材 ハンドアウト						【知識及び技能】 目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、話したり書いたりして表現したり伝え				

		一人1台端末の活用 等 動画提出	○	○	○	と、聞いた言葉や文の繰り返しや発音の仕方を 合ったりするために必要な技能を身に付け ている。 【思考力、判断力、表現力等】 日常的な話題や社会的な話題について、基 本的な語句や文を用いて、情報や考え、気 持ちなどを、論理性に注意して話したり書 いたりして表現したり伝え合ったりしてい る。 【学びに向かう力、人間性等】 日常的な話題や社会的な話題について、基 本的な語句や文を用いて、情報や考え、気 持ちなどを、論理性に注意して話したり書 いたりして表現したり伝え合おうとしてい	○	○	○	17
	Focus on Listening Lesson 5~8	・指導事項 対話文、説明文 ・教材 リスニング教材	○			【知識及び技能】 対話や説明文を聞いて、その内容を適切に とらえている。 【思考力、判断力、表現力等】 対話や説明文を聞いて、その目的や場面、 状況に応じて概要や要点、話し手の意図を 理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 対話や説明文を聞いて、その目的や場面、 状況に応じて概要や要点、話し手の意図を	○	○	○	4
	教科書Lesson 5 Language Change over Time	・指導事項 同格that、リテリングと意見文ラ イティング ・教材 ハンドアウト ・一人1台端末の活用 等 動画提出	○	○	○	【知識及び技能】 目的や場面、状況などに応じて、日常的な 話題や社会的な話題について、基本的な語 句や文を用いて、情報や考え、気持ちなど を、話したり書いたりして表現したり伝え 合ったりするために必要な技能を身に付け ている。 【思考力、判断力、表現力等】 日常的な話題や社会的な話題について、基 本的な語句や文を用いて、情報や考え、気 持ちなどを、論理性に注意して話したり書 いたりして表現したり伝え合ったりしてい る。 【学びに向かう力、人間性等】 日常的な話題や社会的な話題について、基 本的な語句や文を用いて、情報や考え、気 持ちなどを、論理性に注意して話したり書 いたりして表現したり伝え合おうとしてい	○	○	○	18
	Focus on Listening Lesson 9~12	・指導事項 対話文、説明文 ・教材 リスニング教材	○			【知識及び技能】 対話や説明文を聞いて、その内容を適切に とらえている。 【思考力、判断力、表現力等】 対話や説明文を聞いて、その目的や場面、 状況に応じて概要や要点、話し手の意図を 理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 対話や説明文を聞いて、その目的や場面、 状況に応じて概要や要点、話し手の意図を	○	○	○	4
2 学 期	定期考査						○	○		1
	教科書Lesson 8 Edo: A Sustainable Society	・指導事項 分詞構文、リテリングと自己表 現 ・教材 ハンドアウト ・一人1台端末の活用 等 動画提出	○	○	○	【知識及び技能】 目的や場面、状況などに応じて、日常的な 話題や社会的な話題について、基本的な語 句や文を用いて、情報や考え、気持ちなど を、話したり書いたりして表現したり伝え 合ったりするために必要な技能を身に付け ている。 【思考力、判断力、表現力等】 日常的な話題や社会的な話題について、基 本的な語句や文を用いて、情報や考え、気 持ちなどを、論理性に注意して話したり書 いたりして表現したり伝え合ったりしてい	○	○	○	17

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅱ

教科：外国語 科目：論理・表現Ⅱ 単位数：2 単位
 対象学年組：第2学年 1組～7組

使用教科書：Vision Quest English Logic and Expression II Ace(啓林館)

教科 外国語 の目標：

外国語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。「論理・表現Ⅰ」の学習内容を踏まえ、「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動を行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を養う。

具体的な活動と領域は以下の通り。

(1) 話すこと[やり取り]

日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。

(2) 話すこと[発表]

日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。

(3) 書くこと

日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

科目 論理・表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。 [技能] 目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付けている。	目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	説	書	書					
Lesson 1 What is your future goal?	・指導事項 文の種類・文型 ・教材 教科書・プリント ・一人1台端末			○	○	○	【知識及び技能】 文の種類・文型・時制が理解し書くことができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習しようとしている	○	○	○	7
Lesson 2 What school events do you have?	・指導事項 語彙・文法・構文 ・教材 プリント ・一人1台端末 オンライン添削システム			○			【知識及び技能】 情報を適切に伝えることができる 【思考力、判断力、表現力等】 読み手を意識しながら、伝える内容を整理し伝えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習しようとしている	○	○	○	1
1学期 定期考査						○		○	○	1	
Vision Quest Lesson 3 Who is the best athlete? Lesson 4 Is social media safe?	・指導事項 時制・完了形 ・教材 教科書・プリント ・一人1台端末			○	○	○	【知識及び技能】 完了形・助動詞を理解し書くことができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習しようとしている	○	○	○	8
作文課題 「何かを初めて経験した時のことについて」	・指導事項 語彙・文法・構文 ・教材 プリント ・一人1台端末 オンライン添削システム			○			【知識及び技能】 情報を適切に伝えることができる 【思考力、判断力、表現力等】 読み手を意識しながら、伝える内容を整理し伝えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習しようとしている	○	○	○	1
定期考査						○		○	○	1	

2 学 期	Interview Test 1学期の作文課題から1つについて ALTが質問し応答する	・指導事項 発音・応答 ・教材 プリント				○	【知識及び技能】 自分についての情報をやりとりすることができる 【思考力、判断力、表現力等】 聞き手を意識して要点を伝えることができる 【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	3		
	Vision Quest Lesson 5 How does overusing energy affect us? Lesson 6 What are some culture differences?	・指導事項 完了形・助動詞 ・教材 教科書・プリント ・一人1台端末				○	○	○	○	○	9		
	作文課題 「お薦めの小説について」	・指導事項 語彙・文法・構文 ・教材 プリント ・一人1台端末 オンライン添削システム					○				1		
	定期考査									○	○	1	
	Vision Quest Lesson 7 Do all Japanese people need to speak English? Lesson 8 Is Japan open enough?	・指導事項 助動詞・動名詞 ・教材 教科書・プリント ・一人1台端末					○	○	○			10	
	作文課題 「日常生活でしないようにきをつけて いることについて」	・指導事項 語彙・文法・構文 ・教材 プリント ・一人1台端末 オンライン添削システム					○					1	
	定期考査										○	○	1
	Interview Test 1・2学期の作文課題から1つについ てALTが質問し、やり取りする	・指導事項 発音・応答 ・教材 教科書・プリント					○						3
	Vision Quest Lesson 9 What if you were rich? Lesson 10 How might AI affect our lives?	・指導事項 分詞・関係詞 ・教材 教科書・プリント ・一人1台端末					○	○	○				9
	作文課題 「いま必要なものについて」	・指導事項 語彙・文法・構文 ・教材 プリント ・一人1台端末 オンライン添削システム						○					2
定期考査											○	○	1
											合 計		
											60		

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 実教出版：家基705家庭基礎 気づく力 築く未来 ）

教科 家庭 の目標：

- 【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、ICTを活用しながらより工夫をし自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義や社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、パソコンを用いて情報収集したり解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、パソコンを活用しながらより工夫をし自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 ・ライフステージごとの特徴・課題を考える。 ・自分の特徴や長所に気づき、人生を展望する。 ・自分の将来とこれからの社会について考えることができるようになる。	・指導事項 これからの人生についてと自分らしさを考える。 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 自分自身について考えるワークシートや将来についてのレポートなどを通して、自分や、人の一生についての考えをまとめることができる。 【思考・判断・表現】 人生の各ライフステージの特徴と課題について、少子高齢社会、男女共同参画社会などの社会状況を考えながら、自分の生活や将来について考えを深め、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持ってとりくもうとしている。	○	○	○	4
第2章 ・自立の種類とそれぞれの具体的な内容を把握する。 ・時代とともに変化する家族・家庭について学習し、現在の家族の抱える課題などを学ぶ。	・指導事項 これからの人生についてと自分らしさを考える。 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解できる。 【思考・判断・表現】 ・図表などから家庭のあり方や役割が時代とともに変化した背景について読みとることができ、現在の家族・家庭のあり方や役割について考えを深め、表現することができる。 ・家族の変遷や家族に関する意識の変化、現在の家族の抱える問題・課題などについて、情報を収集し自らの考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 家庭生活の現在の社会的状況について、興味を持って知ろうとする態度がある。	○	○	○	4
第6章 ・日本の食文化の成り立ちや和食の特徴を調べる。 ・自身の食生活の現状把握と、健康で豊かな食生活をはぐくむための気づきや工夫する。 ・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を学ぶ。 ・食中毒に対する予防法を理解し、衛生と安全に配慮して調理する。 ・年齢や性別ごとに異なる一日に必要な食事摂取量と、それを満たすための食品の概量を学ぶ。 ・調理実習全2回「ロールケーキ」「3色丼・夏野菜の味噌汁・ゼリー」	・指導事項 食生活をつくる・調理実習 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・日本の食文化について、成り立ちや特徴を理解できる。 ・栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 【思考・判断・表現】 ・自分の地域や修学旅行先の沖縄の郷土料理について、歴史や料理の作り方を調べてまとめ、比較し、違いを自分の言葉で表現できる。 ・栄養の機能と食品のかかわり、また食品の特性と調理との関係において、科学的な思考を身につけ、食品選択、栄養計算や献立作成など、実際の食事づくりにむけての判断ができる。 ・調理実習において、作業の流れを判断しながらとりくむことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 調理実習においては、積極的に参加し取り組もうとしている。	○	○	○	16
定期考査			○	○		1

年間授業計画 様式例

高等学校 令和5年度（2学年用）教科 総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科：総合的な探究の時間 科目：総合的な探究の時間 単位数：1 単位
 対象学年組：第2学年 1組～7組

使用教科書：（『Locus Program2 学びのデザイン編』マイナビ）

教科 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】主体的な自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】考察したことを効果的に説明したり、それをもとに議論したりする力を養う

【学びに向かう力、人間性等】社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
主体的な自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける	考察したことを効果的に説明したり、それをもとに議論したりする力を養う	社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	chapter 1 地域の課題について考える	・身近な地域のテーマから、課題の発見や分析を行う方法を身につける。 ・課題解決には、知識・技術・資格が必要なことに気づく。	課題の解決には何が必要かを、人と人との関わりや必要な能力をもとに説明できる。	○	○	○	3
	chapter 2 地域の産業を知る	・地域産業を形成する組織や個人、地域での役割、魅力強み、課題解決令といった知識を得る。 ・情報収集や情報分析の基礎的な手法を身につける。	授業後の課題（要約、感想、参加態度の自己評価）により評価する。	○	○	○	4
	chapter 3 地域の課題に学問でアプローチする	地域の課題解決に「学」がどのようにかかわることができるのかをつかみ、その必要性に気づく。 ・学問の内容、分類、構成など、今後の進路の検討に役立つ知識を得る。	体験活動報告書等の課題により評価する。	○	○	○	5
2 学期	chapter 4 学問や産業と、行政がどう連携できるかを知る	・「官」の役割や、「産」「学」との連携の効果をつかむことで、課題解決に対する視野を広げる。 ・産官学連携例の分析を通して、自分が将来つきたい仕事や、獲得したい能力について意識を高める。	授業後の課題（要約、感想、参加態度の自己評価）により評価する。	○	○	○	5
	chapter 5 地域の未来と自分の未来を考える	・地域の課題に対して、「産」「官」「学」がどのように関わることができるのか、連携できるかを考える方法をつかむ。 ・産官学連携を自分ごと化し、自分自身のこれからの学びや将来像に結びつける。	授業後の課題（要約、感想、参加態度の自己評価）により評価する。	○	○	○	7
3 学期	地域社会と学問のつながりから、自身が社会とどのように関わるべきなのかを考える	・発表資料を作成する。 ・クラスに対して一人1台端末を使ってわかりやすく発表する。	授業後の課題（要約、感想、参加態度の自己評価）により評価する。	○	○	○	10
							34